

環境・安全レポート

(レスポンシブル・ケア活動報告)

「2013年度版」

明石工場は災害防止と地球環境の
保全の為に最大限の努力をします。



おいしさと安心の
ベストパートナー

RISU
BRAND

株式会社 **ADEKA** 明石工場



目 次

1. はじめに	1頁
2. 工場概要	2頁
3. 環境方針・労働安全衛生方針・食品安全方針	3頁
4. 環境・労働・食品安全マネジメントシステム	6頁
5. 環境活動	6頁
(1) 環境パフォーマンス	
(2) 化学物質の排出・移動（PRTR法）	
(3) グリーン購入	
(4) 環境会計	
6. 安全・衛生活動	8頁
(1) 安全成績	
(2) 安全活動内容	
(3) 衛生活動内容	
7. 緊急事態への対応	9頁
8. 環境・安全コミュニケーション	10頁
(1) 法遵守と環境情報の公開	
(2) 地域とのコミュニケーション	
9. 食品安全マネジメント活動	10頁



(工場の推進活動と継続活動)

1. はじめに

私たち ADEKAグループは、

新しい潮流の変化に鋭敏であり続ける
アグレッシブな先進企業を目指す
世界とともに生きる

という経営理念のもと、事業活動の前提に豊かな地球環境があることを踏まえ、事業活動にともなう環境負荷の低減と化学物質の適正管理の両面から環境保全、生態系保全に取り組んでいます。ISOなどの実質的な国際マネジメントシステムに基づいて環境・労働安全衛生・食品安全方針を設定し、各管理推進組織のもと、企業全体で一丸となって災害、事故の防止、製品安全の確保に努めています。また、同時に、作業環境の改善を図り、従業員の健康確保にも配慮しています。

当社明石工場は、1966年（昭和41年）に西日本の食品製造拠点として兵庫県加古郡稲美町に設立され、マーガリン・ショートニングの製造を開始しました。その後、1980年（昭和55年）にパイ用シートマーガリン製品、1984年（昭和59年）には高粘度クリーム製品、1997年（平成9年）には、小入れ目製品への展開を進め、時代のニーズである多品種少量生産に適応した工場へと進化を続けています。

工場運営の基盤として「4つの安全」を掲げ、企業の社会的責任（CSR）を全うし、皆様に信頼頂ける工場運営を心掛けております。

<4つの安全>

- ①労働安全：リスクアセスメント、KY（危険予知）活動の充実によって作業安全の確保と災害の未然防止を図ります。
- ②品質安全：食品安全マネジメントシステム（FSMS）を活用する事により、安心・安全の更なる向上を図ります。
- ③環境安全：省エネの推進、廃棄物の削減を進めます。
- ④設備安全：自主保全活動の強化と設備の計画的更新を行い、設備トラブルの未然防止を図ります。

本報告書は、2012年度の当社明石工場のCSRの取り組みと成果をまとめたものです。

工場の運営目標として、労働安全：「労働災害ゼロ」、食品安全：「クレームゼロ」、設備安全：「故障・事故ゼロ」、環境安全：「公害・苦情ゼロ」「産業廃棄物の対前年1%削減」「省エネ：対前年エネルギー原単位1%削減」「CO2排出量：対前年1%削減」等を掲げて取り組みました。一部には積み残した課題もありましたが、総じて満足できる結果を収める事が出来ました。残した課題は、2013年度も継続して精力的に課題解決に向けて取り組んでいきます。

明石工場は今後も「4つの安全～安心」を意識した工場運営を心がけ、兵庫県の環境計画に述べられた「次世代に継承する“環境適合型社会”の実現」や、稲美町の謳う「郷土いなみ野の美しい自然と伝統を受けつぎ、さらに、時代の進展に応じ、お互いが協力して希望に満ちた住みよい町をつくる」という町民憲章に則った、地域密着型の食品工場として社会に貢献致します。

この環境レポートを通じて、当工場の諸活動をご理解頂ければ幸いです。
また、皆様からのご意見・ご指導を多数頂き、より良い工場を目指して今後も努力致します。

2013年9月

株式会社  明石工場
工場長 廣田 潔宣

2. 工場概要



明石工場は、JR山陽本線土山駅より東方面約2 km、第二神明道路明石西インターから北東方面に約1.5 kmに位置しています。工場周辺は宅地化が進んでおり環境問題等、近隣に対して細心の配慮をして地域との共存共栄に努めています。

- (1) 工場所在地 兵庫県加古郡稲美町六分一1183-15
- (2) 設立年 1966年(昭和41年)
- (3) 敷地面積 41,427㎡(12,600坪)
- (4) 従業員数 42名(2013年4月1日現在)、常駐協力会社100人工
- (5) 主要製品 マーガリン、ショートニング、高粘度クリーム、小入れ目製品、製パン改良剤等の業務用製品
- (6) 沿革

1966年	明石工場設立
1967年	マーガリン、ショートニング工場完成
1970年	ポンドマーガリン生産開始
1979年	マヨネーズ生産開始
1984年	高粘度クリーム生産開始
1988年	ポンドマーガリン・ファットスプレッド生産開始
1990年	冷凍パイ生地生産開始
1993年	冷凍パイ生地外部委託、ストロー状チップマーガリン生産開始
1994年	マヨネーズ生産を外部委託
1995年	TPM(トータル・マネジメント)優秀賞 第2類 受賞
1997年	冷凍食品外部委託、小入れ目製品生産開始
2000年	TPM(トータル・マネジメント)優秀継続賞 第2類 受賞
2001年	環境ISO14001認証取得
2003年	労働安全OHSAS18001適合取得
2004年	HACCP承認取得
2006年	社名変更(旭電化工業㈱⇒㈱ADEKAへ) 明石工場設立40周年
2007年	工場排水の河川放流を公共下水道へ変更
2008年	ISO2000認証取得
2009年	配合水を井戸水から公共上水道へ変更
2011年	鹿島工場が東日本大震災を被災 緊急応援生産対応実施
2012年	販売好調 過去最高生産高を記録

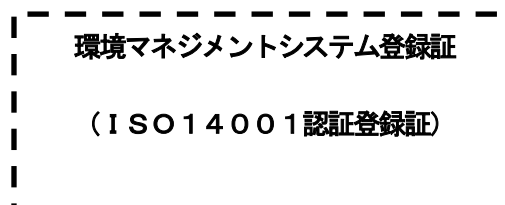
3. 環境方針・労働安全衛生・食品安全方針

環 境 方 針

明石工場は、播州平野の東に位置し、古くから温暖で緑豊かな土地である。これらの環境を守り、次世代につなげることも含め、以下の環境方針に基づいて事業活動を行います。

1. 明石工場はマーガリン・ショートニング・クリームの食品を製造していることを踏まえ、全ての事業活動に基づく環境影響に対し、地球環境の保全の為に、環境マネジメントシステムの構築を図り、継続的改善と汚染の予防に努めます。
2. 環境関連の法令、規則及びその他の要求事項を遵守するに加え、技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、守ります。
3. 環境目的・目標を定め、これを適宜に見直します。
4. 廃棄物発生量の削減、省エネルギーを図り、資源の有効利用に努めます。
5. この方針は文書化し、協力会社を含む全従業員に周知させると共に、外部の求めに応じ公開します。

株式会社  明石工場

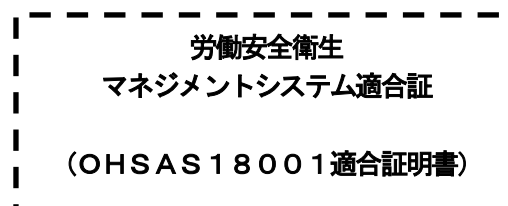
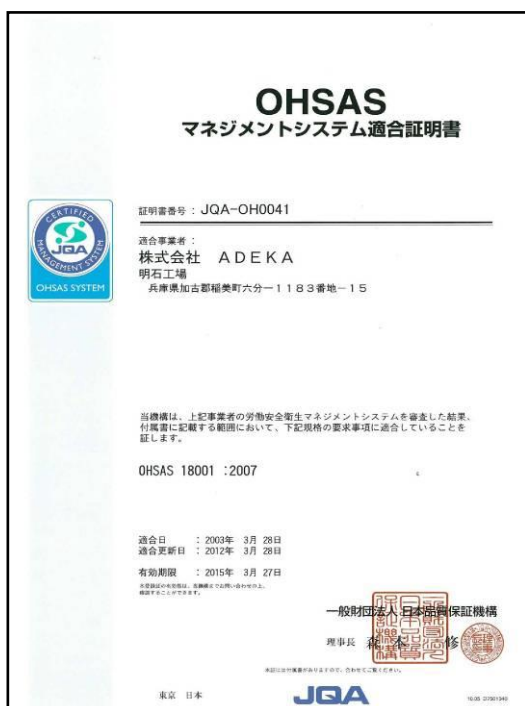


労働安全衛生方針

明石工場は、以下の労働安全衛生方針に基づいて事業活動を行います。

1. 明石工場はマーガリン・ショートニング・クリームの食品を製造していることを踏まえ、事業活動の全ての分野で全員が協力して労働災害の撲滅と健康の増進を図る為に、リスクアセスメントの実行を含む労働安全衛生マネジメントシステムを運用し、継続的改善に努めます。
2. 労働安全衛生関連の法令、規則及びその他の要求事項を遵守するに加え、技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、守ります。
3. 労働安全衛生目標を定め、これらを適宜に見直します。
4. 従業員には、労働安全衛生教育・訓練を実施する事で責務（義務）を自覚させ労働安全衛生に関する意識の向上を図ります。
5. この方針は文書化して、協力会社を含む全従業員に周知させると共に、外部の求めに応じ公開します。

株式会社  明石工場



食 品 安 全 方 針

株式会社ADEKA明石工場は、業務用マーガリン、ショートニングやクリーム類を生産し、パンメーカー、菓子メーカー、その他あらゆる分野の食品メーカーを主要ユーザーとする食品製造工場である。

最終消費製品ではなく中間製品を製造している事は、万が一、品質異常をきたした商品を送り出してしまった場合、ユーザーの使用によって食品危害の範囲は拡大し、最終消費者への被害範囲はとてつもなく広がる事を意味する。

明石工場に從事する従業員は全員、その事を真摯に受け止め、「食品の安全と安心」を優先課題として位置付け、食品の生産活動に從事する。

食品の安全と安心を確実に提供するためには、法令や規制要求事項の遵守はもとより、お客様の食品安全に関する要求を第一に捉える。

そのために明石工場は、食品安全マネジメントシステム(FSMS)を有効に運用し、より良い明石工場として継続的に進化を続けていく。

<われわれ明石工場の全従業員は、FSMSを最大限に活用し、心から安心できる食品を社会に提供する事をここに誓う>

株式会社  明石工場

ISO 22000
マネジメントシステム登録証

登録番号：JQA-FS0031

登録事業者：
株式会社 ADEKA
明石工場
兵庫県加古郡福美町六分-1183番地-15

当機構は、上記事業者の食品安全マネジメントシステムを審査した結果、付属書に記載する範囲において、下記規格の要求事項に適合していることを証します。

ISO 22000:2005

登録日：2008年 4月 18日
登録更新日：2011年 4月 18日
有効期限：2014年 4月 17日

本登録は有効期間満了後、登録事業者が再審査を受け、合格した場合にのみ有効となります。

一般財団法人 日本規格保証機構
理事長 森田 高 修



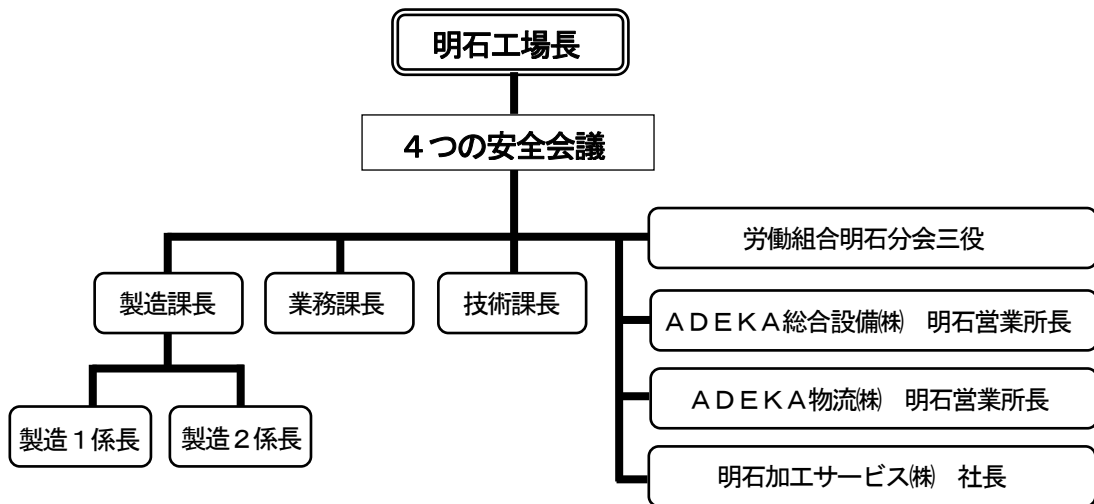
東京 日本  ISO 22000:2005

食品安全
マネジメントシステム登録証
(ISO22000認証登録証)

4. 環境・労働・食品安全マネジメントシステム

当工場の環境管理・労働安全衛生・食品安全推進組織は工場長をトップとして、全部署の代表者で構成する「4つの安全会議」を中心とし、協力会社3社を含め全員参加の活動を行っています。又、工場長の責務として、環境管理・労働安全衛生・食品安全の最終責任を負うとともに、必要とされる経営資源(人材、設備、資金)を経済的、合理的かつ計画的に提供する責任を負っています。

推進組織図



5. 環境活動

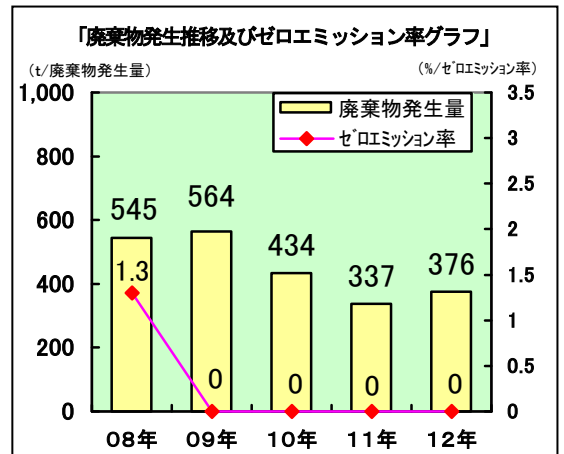
当工場は、「ISO14001」を取得し、環境の影響を持続的に改善する為のシステムを構築し、省エネ・廃棄物削減・炭酸ガス削減等の活動を進めています。

(1) 環境パフォーマンス

① 産業廃棄物関係

当工場の生産工程から様々な廃棄物が発生します。2012年度は対前年と比較し生産量増加に伴い廃棄物発生量が39 t増加しましたが、発生した廃棄物を有価物化推進やリサイクル化を徹底した結果、2009年度から継続して完全ゼロエミ化を達成する事が出来ました。今後も引続き廃棄物削減に取り組めます。

新たな取組みとして、食品事業全体の食品リサイクル率向上を目的に保管倉庫(ストックポイント)で発生する食品廃棄物を食品リサイクル法に100%適合した明石工場に引き戻し処理する取組みを開始しました。この取組みにより約12 tの食品廃棄物をリサイクルする事が出来ました。



● 食品リサイクル法適合処理の紹介 ●

食品廃棄物
(工程内不良品等)



肥料化



炭化製品化
(燃料)



油脂・油脂製品化
(石鹼原料等)

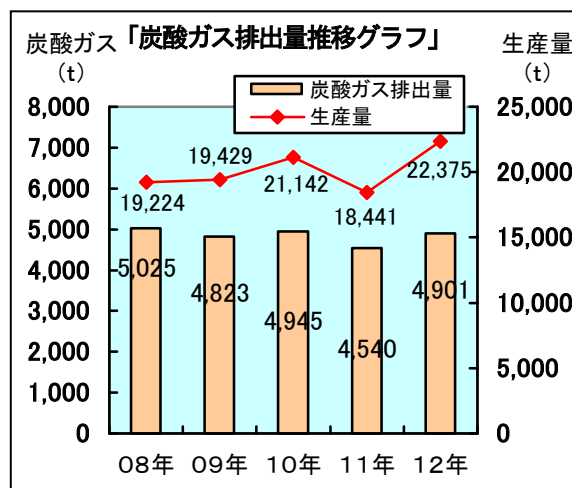
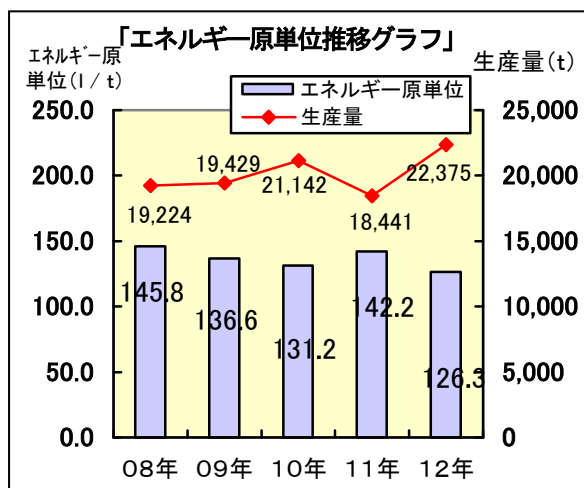
②省エネルギー関係

・2012年度の結果

エネルギー原単位は、効率的な纏め生産と省エネ活動の活性化（エネルギー管理の徹底、省エネ機器の導入等）効果により、対前年比11.2%削減と目標値（対前年比1%削減）を達成する事が出来ました。しかし、炭酸ガス排出量は、生産量が大幅に増加した事に伴い、対前年比8.0%増加し目標値（対前年比1%削減）未達でありました。

・今後の展開

省エネルギー改善及び炭酸ガス削減に向け、冷蔵庫照明のLED化、断熱材見直し、高効率型変圧器更新等の様々な省エネ機器を導入すると共に、日々のエネルギー管理をより強化し、省エネ活動に取り組めます。



③大気汚染関係

生産ラインの殺菌等に使用する蒸気を発生する為に、使用している小型貫流ボイラー（都市ガス）の排ガスの成分を定期的に測定し、環境規制値内であることを管理し、維持しています。

④水質汚濁関係

・井戸水の利用状況

当工場は2本の井戸より汲み上げ、食品衛生法で認可されている「飲用適の水」として洗浄水、またボイラー用水・機器の冷却水として使用しています。

井戸の管理については、井戸及びその周辺の点検を行い、清潔の保持に努めると共に定期的に水質検査を実施し、水質基準値内であることを確認しています。

・工場排水の排出

当工場の生産活動に伴う生産工程からの排水は、2007年9月より加古川流域下水道に接続放流しています。又、接続した現在も、加古川流域下水道に流す前に排水処理設備で一次処理を行った後（規制値以下のクリーンな水である事を確認後）、放流しています。

(2) 化学物質の排出・移動（P R T R法）

当工場のP R T R法「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の推進に関する法律」に該当する物質で取扱量1t以上の物質は、排水処理設備で使用している薬剤「塩化第二鉄」のみです。又、排水処理工程内でその他薬剤と合わさり中和される事から、塩化第二鉄として公共用水域への排出及び下水道への移動はありません。

(3) グリーン購入

当工場のグリーン購入は事務用品及び備品を中心に進めており、2012年度は、138品目（種類）中、125品目のエコ製品を購入し、集計で90.6%の達成率となっています。残りの品目についても順次見直しを進めていきます。

又、従業員の日常のエコ活動として以下を取り決め行動しています。

① 使用済みの封筒は社内メール等で再利用します。

② コピー用紙は再生紙を購入し、両面印刷を原則として枚数の削減をしています。

⇒両面印刷効果により、紙の購入枚数は年々減少傾向にあります。

(4) 環境会計

2012年度は、省エネ設備（空調機更新等）の導入や排水処理施設の臭気対策として脱臭機を導入した事で環境設備投資額が大幅に増加しました。又、環境保全効果に伴う経済効果は、廃棄物の削減及び有価物化推進と省エネ活動の効果により約13百万円の実績となりました。

(単位：千円)

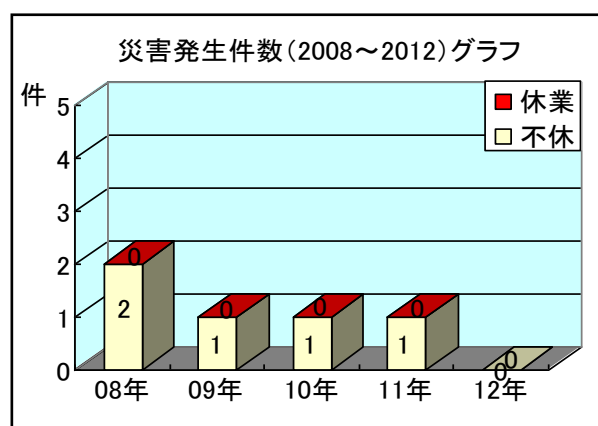
	2011年度	2012年度
環境設備投資額	11,167	29,516
環境維持コスト	100,557	47,849
環境保全効果に伴う経済効果	24,267	13,062

6. 安全・衛生活動

当工場は、「OHSAS18001」を取得し、毎年度リスクアセスメントの抽出と改善を実施しており、「真の原因追及と活かした対策の構築」を合言葉に教育・点検・パトロール等を実施し、災害ゼロを目指しています。

(1) 安全成績

2012年度は災害発生0件を目標に掲げ、従業員へ安全に関する様々な教育、リスク抽出箇所の早期改善を行いました。又、新たな活動（床滑り撲滅活動等）や若年層をターゲットとした安全教育を展開した結果、完全無災害を達成する事が出来ました。次年度も引き続き様々な教育・活動を展開し、完全無災害を達成します。



(2) 安全活動内容

①ゼロ災活動

工場従業員及び協力会社員の災害ゼロ達成に向け、各職場で選出されたゼロ災委員が毎月1回集まり危険箇所の洗い出しと報告・現場確認を行い、早期改善を図る活動を展開しています。

②小集団活動

職場第一線のメンバーをベースとした全員参加自主管理方式による職場活動です。小集団の利点を活かし「仲間との一体感により、個々人の安全意識の向上」を目的とし、「気づきのレベル」まで掘り下げ、自分達の職場を働きやすい環境に変えていく活動を展開しています。

③床滑り撲滅活動

現場内の床滑りについて、「現場内床滑り撲滅キャンペーン」を実施し、床滑り発生箇所の抽出、床滑りの原因究明から対策検討（床のドライ化、作業靴の変更、床材の変更等）を行い、床が滑らない安全職場の実現を目指しています。



③教育・講習会

全体教育として、毎年6月に安全大会を開催し全従業員の安全への意識付けを図り、7月には加古川警察より講師を招いて交通安全教育を開催しました。又、従業員の高齢化を鑑み、本年よりAED使用を含む一般救命講習会を開催し、不測の事態に対応出来るスキル向上を図っています。



(安全大会)



(加古川警察による交通安全教育)



(AED使用を含む一般救命講習会)



(3) 衛生活動内容

当工場では、健康診断の受診を積極的に進め、受診率100%を達成しています。又、従業員の健康増進を目的に各個人で希望して受診できるオプション検査の充実、産業医による健康診断フォロー面談、健康講話を実施しています。又、従業員同士の交流及び身体のリフレッシュを図るべく、レクリエーション等の取組みも実施しています。



(産業医による健康講話)



(ご家族参加型のバス旅行)

7. 緊急事態への対応

当工場では、環境・安全衛生推進計画に従い、緊急処置訓練(防災訓練)、自動火災報知設備点検、消火器点検、特高圧受電設備点検等を遅滞なく実施しています。2012年度は、東南海地震の対策再検討を目標に掲げ、災害発生時の対応手順見直しや防災用品の確保(非常食の確保等)を推進しました。又、非常用発電機やAED(自動体外式除細動器)を導入し、緊急事態に備えています。今後も継続して訓練・教育を行い、実際の有事に確実に対応出来る様、保安力のレベルアップを図ります。



(防災訓練)



(非常用発電機導入)



(AED機器導入)

8. 環境・安全コミュニケーション

(1) 法遵守と環境情報の公開

当工場は、コンプライアンスの確保を基本方針として活動しており、環境情報については「環境方針」「当工場の著しい環境側面」等を公開しています。

(2) 地域とのコミュニケーション

当工場は、緑化計画に沿って緑豊かな工場に努めると共に、工場近隣道路の清掃活動を定期的に行い、環境美化を推進しています。又、近隣の障害者施設へのクリスマスケーキ寄贈や近隣企業で構成された協議会の参加及び(財)ひょうご環境創造協会に加盟し地域一体の活動を推進しています。

工場近隣道路の清掃



9. 食品安全マネジメント活動

当工場は、「おいしさと安心のベストパートナー」をスローガンとし、食の安全が確認出来るシステム構築とISO22000マネジメントシステムの確実な運用を目指して日々取り組んでいます。2012年度は、設備保全の強化、FSSC (ISO22000 と食品製造に関する一般的衛生管理(PAS220)を組み合わせたスキーム)の取り込み、物流業者教育、品質リスクアセスメントの仕組み充実を進めた結果、クレーム0件を達成する事が出来ました。今後も品質管理を更に強化し、安心・安全な商品をお届け致します。



(内部監査員養成講習会)



(物流業者を集めての品質安全教育会)

発行 : 2013年9月
発行責任部署 : 株式会社  明石工場 業務課
住所 : 〒675-1112 兵庫県加古郡稲美町六分一 1183-15
TEL:079-495-2361 FAX:079-495-2820

